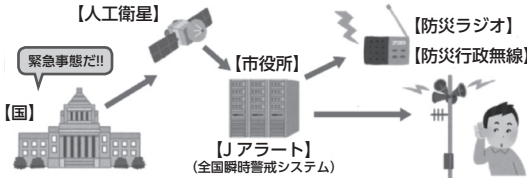




『国民保護』——最近よく耳にする言葉ですが、皆さんご存知ですか？国民保護とは、武力攻撃や大規模テロなどから、国などの行政機関・公共機関などが連携して住民の生命、身体、財産を守るためのしくみです。いざという時、どのように行動すればよいのかを知っておく必要があります。今、正しい知識を身につけましょう。それが、あなたを守る盾になります。

Jアラート (全国瞬時警戒システム)

Jアラートとは、国から届いた緊急情報を衛星受信し、防災行政無線や防災ラジオから瞬時に放送するシステムです。



メッセージが流れたら 落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合** ・ 近くの頑丈な建物や地下に避難する。
- 建物がない場合** ・ 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合** ・ 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

ときに、自動的に起動して放送が入ります。

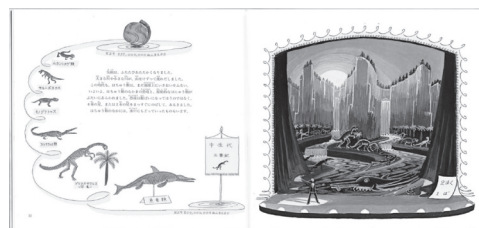
～覚えておこう～
『弾道ミサイル落下時』の
行動について

弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、Jアラートにより、防災行政無線とともにメッセージを流すほか、緊急通報メールなどで緊急情報をお知らせします。

せいめいのれきし

NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」、楽しんで見えています。主な舞台が浜松ということもあり、三遠南信の地名が折々に登場します。3月には、上ノ郷城とその城主鶴殿長照の名前が出てきました。久しぶりに上ノ郷城跡を見たくなくて足を延ばし、にわか知識を総動員して当時の様子を思い浮かべながら歩いてみると、あら不思議。これまでは景色の良い高台に過ぎなかった場所が、史実を知ることによって、物語の一角を担う特別な場所に見えてきます。

化石や隕石も同じです。例えば小さな貝の化石。同じ地層から見つかる他の化石の情報を集めて組み合わせれば、当時の気候や地形などの環境が見えてきます。世界各地のさまざまな地層の情報を集めて読み解けば、地球と生命の歴史を知ることができます。逆に考えれば、小さな貝の化石一つも、地球の歴史の一場面に登場する生物が、その時代その場所に生きていた証といえます。地球の歴史という壮大な史実を知ることによって、小さな化石の一つ一つが特別なものに見えてくる、そんな不思議もあるのではないのでしょうか。



『せいめいのれきし (改訂版)』
(バージニア・リー・バートン文・
絵、いしいももこ訳、まなべまこと監修、岩波書店)

もシンプルな絵本です。ページをめくると劇場仕立てで物語、つまり生命の歴史が語られていきます。この夏の特別展『せいめいのれきし』(P.29参照)では、1962年に出版され、現在も読み継がれている本書をテーマに、小さな化石を物語の登場人物として輝かせることのできる物語の魅力と、物語を支える科学の成果を紹介し、身近な自然を輝かせる科学の不思議、どうぞ堪能ください。